公益財団法人 旭硝子財団

**2020年度採択・2019年度募集「サステイナブルな未来への研究助成」**

**【提案研究コース】　申請書**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **分野**  いずれかに囲み線をつける | 建築・都市　　人文・社会科学　　環境ﾌｨｰﾙﾄﾞ研究 | | **研究領域**  応募要項に示したアルファベットを1つ記入する | |  | |
| **研究課題** | | | | | | |
| **申請者**  氏 名： xx xx　　　（フリガナxxxxx　xxxxx）　　　　　生年月日：19xx年 xx月 xx日（xx才）  所属機関： xx大学大学院xx研究科xx専攻  職位：xx　　　　　　　　　　　＜職位： 常勤／それ以外　(どちらかに囲み線をつける)＞　＜任期付の場合：20xx年 xx月までの任用見込＞  ＜クロスアポイントメント： 無／有　(どちらかに囲み線をつける)　 ※有の場合、上記所属機関の割合は、xxパーセント＞  所属機関所在地：(〒xxx-xxxx) xxx県xxx市xxx町xxx  [TEL] xx-xxxx-xxxx [上記所属機関の本人E-Mail] xxxxx@xxx.ac.jp | | | | | | |
| **申請研究期間** いずれかに囲み線をつける | 1年間　 2年間 | **助成申請額**研究期間を通じた合計額。  建築・都市分野：50～150万円  人文･社会科学分野と環境フィールド研究分野：50～100万円 | | x,xxx千円 | | |
| **研究概要** 3ページ目以降の記述内容を要約してください。最も重要なポイントについて、アンダーラインを引いてください。各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください。  **１）研究提案の背景と目的･目標：**どのような背景(必要性)に対し、何を達成/解決/克服するのか  **２）研究手法：**どのようにして課題を達成/解決/克服するのか  **３）研究提案の独自性、研究手法の独創性：**類似の研究とは何が違うのか、独自の発想は何か  **４）研究の学術的または社会的な意義や期待される波及効果：**持続可能な未来にどのように貢献できるか | | | | | | |
| **１．申請者の略歴、研究分野、業績** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください  １）学歴･職歴(大学入学から記載してください)  ※クロスアポイントメントの場合、それぞれの勤務先の従事割合を記載してください。 　○○大学　□％、××研究所　△％  ２）これまでに行った主な研究  ３）受賞関係（年月、表彰機関、受賞の名称、題名など） | | | | | | |
| **２．共同研究者**(申請者と共同して研究PJ全体に参加する研究者)、**研究協力者**(補助的あるいは部分的に参加する研究者)： どちらであるかを囲み線で示してください  ①〔氏名・年齢〕 （ 才）  〔所属機関・職名〕 （共同，協力）  ②〔氏名・年齢〕 （ 才）  〔所属機関・職名〕 （共同，協力）  ③〔氏名・年齢〕 （ 才）  〔所属機関・職名〕 （共同，協力） | | | | | | |
| **３．申請研究の内容** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください  １）研究の背景　これまでの検討経緯があればここに記載してください  ２）研究の目的・目標 複数の副課題に分けても結構です。「持続可能な未来」に向けた視点を明示してください  ３）設定された目的・目標を達成/解決/克服するための研究方法 | | | | | |
| 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください  ４）研究計画 助成金の使途と関連づけながら時系列的に説明してください  ５）類似の研究に対する先行性、研究提案や手法の独創性  ６）研究の学術的または社会的な意義と期待される波及効果**：**持続可能な未来にどのように貢献できるか | | | | | |

**４．助成金使途内訳** (記入例をアンダーラインで示しました。使途として例えば人件費は認められません。  
詳細は「研究助成の手引き」をご参照ください)

〔金額単位：千円〕

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費　　目 | 1年目 | 2年目 | 内容・使途説明 |
| ＜設備・備品費＞  ・必要な消耗品費等も申請してください  装置Ａ  Ｃ社製○○ソフトウェア  ＜消耗品費＞  器具部品  薬品  ＜旅費＞  ・受領者本人の旅費が原則です  東京～中国○○省  東京～京都  東京～大阪  ＜謝金･外注作業費＞  ・学生が本来行うべき教育研究活動への対価には使えません  アルバイト  ＜その他＞  ・印刷費  ・通信費  ・会議費  ・図書費  ・施設使用料  ・学会費、参加費  ・学会年会費には使えません  ＜所属機関に支払う間接経費※＞  ・原則として機関に支払う間接経費（オーバーヘッド）をお断りしています。採択後に学内で免除申請を行ってください。 | 100  0  20  10  300  50  0  100  0  0  0  0  100  0  20 | 0  5  25  20  0  50  30  0  50  0  10  20  90  0  0 | ○○製○○計測装置  ○○のデータ処理のため  試料バイアル，単価○○円，○○個  分析用薬品，単価○○円，○○個  フィールド調査(年2回)  共同研究者との打合せ(各年 2回)  学会発表  ○○でのフィールド調査○○時間  シンポジウム等資料印刷  海外研究者への資料発送費  ○○研究者会合の会場費、消耗品代  文献購入代  プロジェクト推進のためのスペース代  本プロジェクトに関して○○学会に参加予定  間接経費2％（免除不可） |
| 小　　　計 | 700 | 300 |  |
| 合　　　計 | 1,000 | | 研究期間を通じた申請の合計額  ・建築・都市分野：50～150万円  ・人文･社会科学分野と環境フィールド研究分野：  50～100万円 |

※間接経費の免除が不可能な場合には、間接経費を計上してください。間接経費が助成額の5％を超える場合は採択の対象になりません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **５．研究資金の受領状況** 科研費等の国の競争的研究費、民間財団等からの助成金はすべて該当します。  ※チーム研究の場合は申請者に直接かかわる金額を記入してください。  １）申請者が2018年度以降に受領した競争的研究資金（すべて記載してください）  助成開始年度がそれ以前であっても、あるいは本申請と異なるテーマであっても、当該期間に受領したものをすべて書いてください   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 受領  年度 | 助成金の名称 | 受領者名 （チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※  （千円） | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  |   ２）申請者が現在申請中、あるいは近く申請を予定する競争的研究資金（すべて記載してください）  同じ研究（使途）内容で他の機関に助成申請されることは差し支えありませんが、本申請と類似申請が重複でない場合は、相違点を６.の空欄にご記入ください。同一研究内容で他の機関からも重複して採択された場合には、必ず当財団にご連絡ください。どちらかの助成をご辞退いただきます。   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 年度 | 助成金の名称 | 受領者名 （チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※  （千円） | 採択内定  時期 | |  |  |  |  |  | ××年  ××月 | |  |  |  |  |  | ××年  ××月 | |  |  |  |  |  | ××年  ××月 | |
| **６．選考において配慮を希望する事項** (自由記載) |

**７．関連論文リスト**2014年以降の申請者自身の論文リストをこのページに収まる範囲で作成してください。すでに刊行されたものを対象としますが、Acceptされているものも注記を添えて下されば記載して結構です。

**本申請課題に関連する論文の実績はなくても構いませんが、本申請課題と関係の深いものは〇印を付してください。**

＜査読論文（掲載またはAccept）＞

1．

2．

3．

＜それ以外＞